

「水環境ニュース」では、県内の水環境に関する情報を発信していきます。

# 「水環境ニュース」



水の体験学習モデルツアー

今号では、

- ・ 水の体験学習モデルツアーの実施状況
- ・ 水と笑顔のベストプリントの結果
- ・ 「水との共生」出前講座の開催状況

についてお知らせします。

# 水の体験学習モデルツアーを実施しました

県では、原子力災害に伴う県内の水に対する不安を払拭し、本県の豊かな水資源、清らかな水環境、地域に息づく水文化への理解を深めていただくための取組を実施しています。

平成27年度は、従来から取り組んできたホームページやイベントでのPR活動に加えて、県内の特定非営利活動法人（NPO）の事業企画・実施運営の力を活用し、様々な体験や学習を通して、水に親しみ、水のことを学び、水と楽しむ今後のモデルとなるようなツアーを実施いたしました。

公募により、事業提案内容等が最も高く評価された、NPO「子育て支援コミュニティプチママン（郡山市）」の企画が選定され、水環境活動団体の「猪苗代湖を守る会」、「鮫川流域ネットワーク」との連携により、平成27年11月に「郡山・猪苗代」、平成28年1月に「いわき」、2コースで行われ、県内の親子30組（約70名）が参加し、大好評のうちに終了いたしました。

## （事業主体の紹介）

子育て支援コミュニティプチママンは、10年間の活動実績をもつ子育て支援のNPOで、常設ひろばのある郡山市を中心に、親子のための活動として託児ほか、お母さん方の社会復帰事業のファシリテーターに携わり、お母さん方の生の声を直接受け止めているNPOです。

## 「郡山・猪苗代コース」（平成27年11月29日）

- ・堀口浄水場（猪苗代町）
- ・しおやぐら（猪苗代町）  
そばうち体験と昼食（猪苗代の水と食の恵み）
- ・学びいな（猪苗代町）  
湖水講座
- ・長浜（猪苗代町）  
遊覧船から見る猪苗代湖  
ゴミ拾い

澄んだおいしい水を使い、自分たちでつくった蕎麦はまた格別だったそうです。



湖水講座(学びいな) ～ 猪苗代湖の水質のことを知る。



講話(ららみゅう) ～ 鮫川流域の歴史や地域の方々の取組を知る。

## 「いわきコース」（平成28年11月29日）

- ・アクアマリンふくしま（いわき市）  
学習プログラムの聴講  
自由見学
- ・ららみゅう（いわき市）  
昼食（いわきの水と食の恵み）  
講話「鮫川流域の自然の恵みと現状」
- ・鮫川河川敷公園（いわき市）  
トーク「河川敷の草花や生き物」

カジカが棲む清流を守ろうと地域で飼育の努力を続けている話は考えさせられたということです。

## （プチママンの皆さんから）

親子で水の安全に対する自治体の取組を学んだり、水に直接触れ水の恩恵を受けて生活していることを実感できる場所を楽しく訪れたりすることで、一番、水に対して不安を抱えている子育て世代の方々が、子どもと楽しく学ぶ機会をつくり、不安の払しょくにつなげようと企画しました。

今回のツアーで訪れた場所以外の自分たちの地域の河川などの水資源・水環境にも触れる機会をつくりたいと思います。

# 水と笑顔の写真を応募いただきました

水の体験学習モデルツアーと平行して、人と水との関わりを皆さんの笑顔とともに表現していただく企画として、「水と笑顔のふくしまベストプリント」の募集を行い、より趣旨に沿うもの3点を入賞作品に選定し、公表しました。

また、入賞作品と主な応募作品を掲載したパンフレットを作成し、アクアマリンふくしまをはじめとした県の交流施設や、市町村、水環境活動団体などに配付しました。

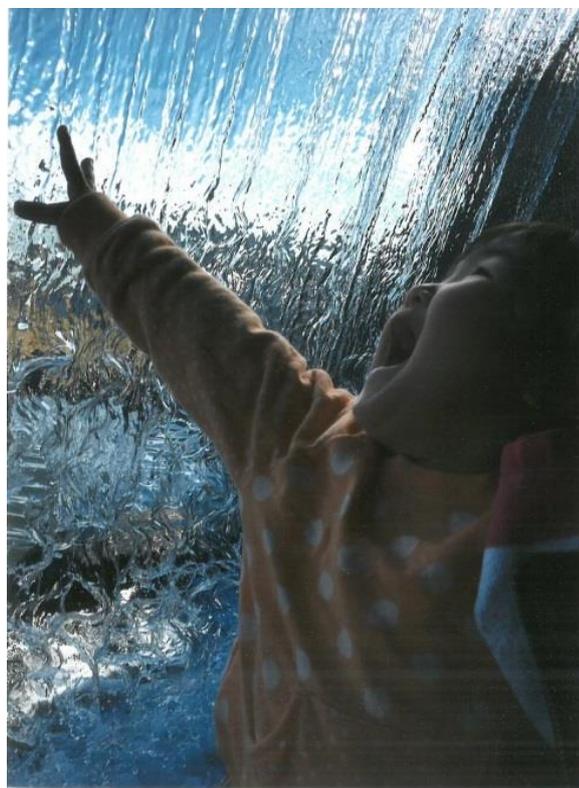


～ベストプリント大賞（最優秀賞）～

佐藤 雅子（いわき市）

- 作品名 「5年ぶりの海」
- 撮影場所 夏井川河口海岸
- 受賞コメント

大変光栄です。  
様々な活動の中でいつも子どもたちの笑顔を写しています。  
震災から5年、水に関わる子どもたちとの活動をもっと  
もっと増やしていき、子どもたちの笑顔を見続けていきたい  
と思います。



～ベストプリント賞（優秀賞）～

鈴木 和也（いわき市）

- 作品名 「届け！」
- 撮影場所 アクアマリンふくしま  
わくわく里山・縄文の里
- 受賞コメント

震災後、いち早く復旧、再開を果たしたアクアマリンは、  
未来を担う若い子どもたちに、そして浜通り、福島県  
全体にとっての復興のシンボルであり続けると思います。



～ベストプリント賞（優秀賞）～

柏館 健（いわき市）

- 作品名 「大物にぐらり」
- 撮影場所 榎葉町木戸川
- 受賞コメント

木戸川の恵み（鮭）の復活は、双葉地方の復興に  
向けての確かな一歩だと思っています。  
いい写真が撮れて本当によかったと思います。

# 「水との共生」出前講座について

県では、県内の川や湖の水環境保全活動などに取り組んでいる皆さんを支援するため、学習したい内容や活動の悩み解決などの要望に応じて、集会や勉強会に講師を派遣しています。

平成27年度の出前講座の様子について、その一部を紹介します。

平成28年度も引き続き募集しますので、講師の派遣を希望される団体の方は、福島県土地・水調整課のホームページをご覧ください。



団体名 勝方地域農地・水・環境を守る会

講師 会津生物同好会 五十嵐義氏

川に生息する生き物を採取し、水のきれいさを調べました。



団体名 広瀬川の自然環境を考える会

講師 浜地域研究所 三田村敏正氏

生物の在来種や外来種について学ぶと共に、広瀬川に生息する生物についてお話を伺いました。



団体名 小野町立夏井第一小学校

講師 夏井川流域の会の皆さん

夏井川で採取した生き物を調べながら、水質検査の方法や水の大切さについて学びました。



団体名 西郷くらしの会

講師 福島大学 塘忠顕教授

水生生物の調査方法を学ぶとともに、生物の見分け方などについて、お話を伺いました。

## [問合せ先]

福島県企画調整部 土地・水調整課

メール: tochi\_mizu@pref.fukushima.lg.jp

HP : 福島県 土地・水調整課

〒960-8670 福島市杉妻町2-16

電話: 024-521-7123 FAX: 024-521-7911

検索

